

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（64） 学校名 豊田市立則定小学校

1 テーマ

「自らかかわり、つながり、学びを深める子の育成」  
～魅力ある体験や交流を通して、豊かな感性や生き抜く力を育てる～

2 ねらい

- ・米作りや野菜の栽培を通して、働くことの尊さや収穫の喜びを体得する。
- ・則定川や恩真寺湿地、ビオトープ等学校周辺の自然調査を行い、そこに住む生き物の飼育や調べ学習を通して自然への関心を高める。
- ・郷土の偉人である『鈴木正三』について学び、その教えを自らの生活に生かす。
- ・地域講師から栽培技術や食材の調理法を等の知恵を学び、学習の成果を発表したり、地域の方に感謝の気持ちを伝えたりすることで、地域への愛着心を高める。
- ・季節や日常生活、行事を題材に一行詩づくりを行い、思いを短い言葉で表現できるようにする。
- ・感性豊かで、たくましく生きる力を育てて、自校や地域に誇りをもち、「We Love 則定」の意識を深めていく。

3 活動内容

- ・米作り（通年）…3・4年  
野菜・花作り（春から秋）と収穫祭（後期）…1～6年
- ・川の生き物調べ…3年
- ・郷土の偉人『鈴木正三』を中心とする郷土の歴史や文化についての学習、学芸会での劇発表…6年
- ・則定地区や恩真寺湿地など環境についての調べ学習…5年
- ・全校での活動（正三ウォーク・朗読会・文集「則定っ子」など）
- ・地域の方との交流会、地域の方に感謝の気持ちを伝える感謝の会…1～6年
- ・クラブ活動（年間10回）…3～6年  
和太鼓、盆踊り、生け花など地域講師をお招きし専門的な指導

4 成果と課題

（1）成果

- ・「米づくりは、田植えや稲刈りだけではなくて、肥料まき水の調整などやるのがたくさんあって大変なことがわかった。大切にたくさん食べたい。」「畑の草取り

は大変だったけど、おいもがたくさん取れて嬉しかった。」など、働くことの大変さと喜び、「食」の大切さを感じることができた。

- ・「総合的な学習の時間の調べ学習や学芸会で正三劇を行うことで正三について詳しく知ることができた。」「正三のことを海外の方にも広めたいと思い、英語のパンフレットを作り、修学旅行で観光客に配る活動ができた。」「則定地区と恩真寺湿地を比べることで、則定の自然を見直すことができ、より興味をもつことができました。」など、郷土の偉人や自然を学ぶことで、郷土への愛着が高まった。
- ・「昔ながらの遊びを教えてもらえて、一緒に遊べて楽しかった。」「竹の箸を教えてもらいながら作ったけど、うまくできたので家で使いたい。」など、地域の方との交流に楽しんで取り組む様子が感じられた。
- ・校内整備員に田や畑の管理や川と山探検の事前の整備をしてもらうことで、教員の負担が減ったり安全に活動できたりした。
- ・保護者アンケートの結果では、「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色ある教育活動が行われているか」の項目で、3.5だった。市平均(3.26)と比較し、本校が上回っている。また、本年度は本校の昨年度平均3.29を上回っていた。

## (2) 課題

- ・今年度は新たな講師を迎え、新講座ができたが、講師の方が高齢であるため、継続するためにはさらに新たな講師の候補を地域で探していただく必要がある。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページで活動の具体的な内容を写真と一緒に随時掲載した。
- ・学校だより「力いっぱい」や学級通信(隔週発行)に本事業に関わる活動の具体的な内容を保護者や地域に紹介した。
- ・2月にクラブ作品の展示を行い、クラブ活動の様子を大型モニターで紹介したり、作品を展示したりして、保護者、地域の方に知っていただく場を設けた。
- ・2月に、特色ある学校づくり推進事業に関わる発表会を他学年に向けて行い、校内で広めた。